

院内がん登録室事業について

【設置目的】  
都内医療機関の院内がん登録データの収集・分析を行い、各医療機関のがん診療機能の比較・検証を行うことにより、都全体のがんに関する情報を把握するとともに、都におけるがん医療水準の向上を図る。

- 【事業内容】
- ① 院内がん登録データの収集
  - ② 院内がん登録データの分析
  - ③ 院内がん登録実務者への研修・相談
  - ④ 院内がん登録の普及
  - ⑤ 予後調査の支援

【実施方法】  
都立駒込病院へ業務委託(平成22年度～)

東京都院内がん登録実務者研修

■ 国立がん研究センターの研修をフォローする目的で、実務者対象の研修会を実施

【実施状況(平成26年度)】

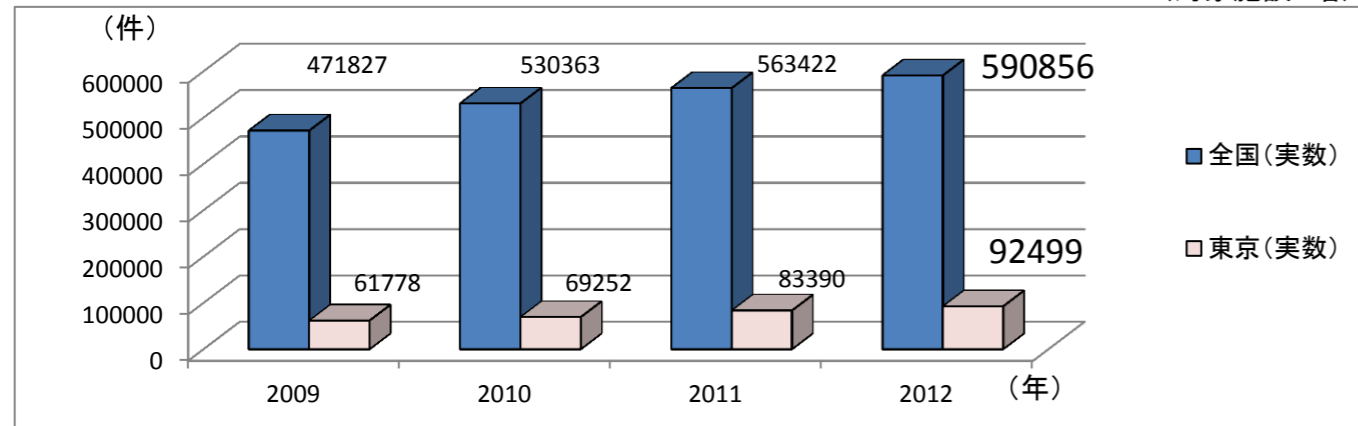
区分	初級継続編	応用編
対象	登録経験年数3年未満	登録経験年数3年以上
開催日	平成26年9月5日(金) 平成26年10月3日(金)	平成26年12月15日(月) 平成27年1月19日(月)
参加者	62名(拠点32、認定9、協力・その他21)	76名(拠点46、認定9、協力21)

院内がん登録データの分析

- ① 参加施設:52施設(がん診療連携拠点病院、東京都認定がん診療病院、東京都(部位別)がん診療連携協力病院)国立がん研究センター中央病院を含む。)
- ② 収集対象:平成24(2012)年1月1日から12月31日までの1年間に自施設で診断または、他施設で既に診断されて、自施設に初診した登録症例。症例区分8を除く。

1 全国・東京都別 登録数 2012

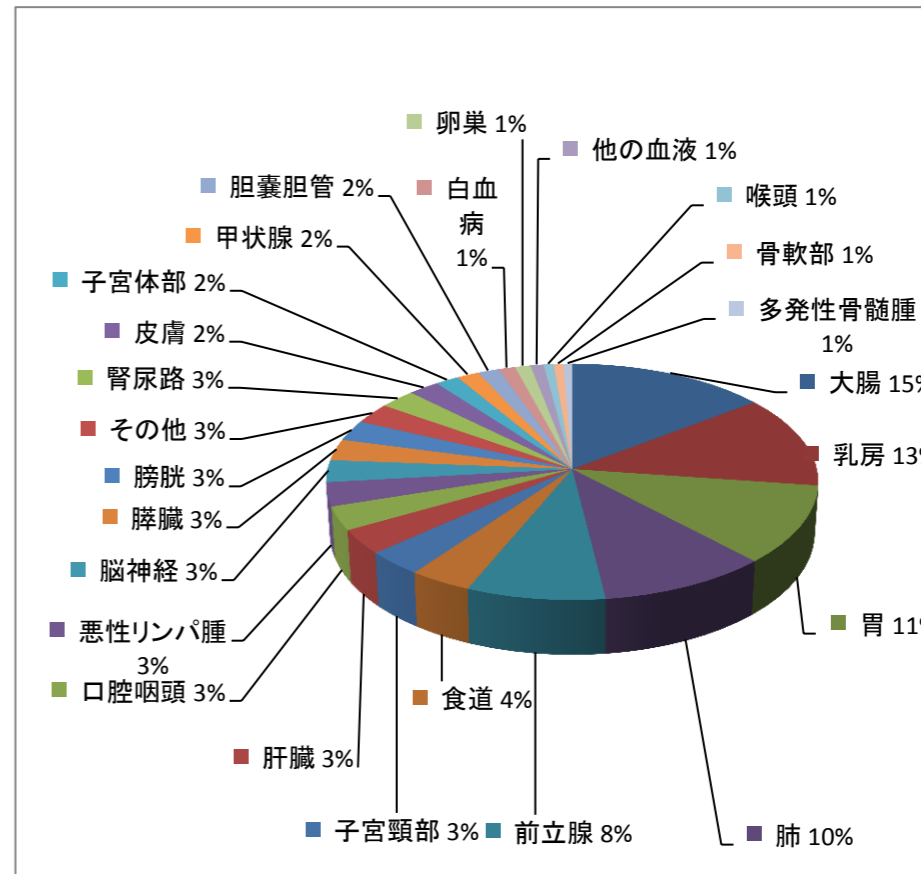
▼全国の登録数は、27,434件増加し、前年度比4.8%  
(対象施設83増)  
▼東京都の登録数は、9,109件増加し、前年度比10.9%  
(対象施設8増)



3 都の部位別の状況

▼全国平均では、多い順に大腸、胃、肺、乳房、前立腺である。  
▼東京都では、2009年から順位に変化はなく、大腸、乳房、胃、肺、前立腺となっている。

順位	部位	件数
1位	大腸	13,466
	結腸	8,892
	直腸	4,574
2位	乳房	11,698
3位	胃	9,941
4位	肺	9,324
5位	前立腺	7,623
6位	食道	3,441
7位	子宮頸部	3,130
8位	肝臓	3,092
9位	口腔咽頭	2,999
10位	悪性リンパ腫	2,996
11位	脳神経	2,784
12位	膵臓	2,694
13位	膀胱	2,620
14位	その他	2,607
15位	腎尿路	2,440
16位	皮膚	2,099
17位	子宮体部	1,600
18位	甲状腺	1,489
19位	胆嚢胆管	1,436
20位	白血病	1,143
21位	卵巣	1,051
22位	他の血液	878
23位	喉頭	679
24位	骨軟部	655
25位	多発性骨髄腫	592
	合計	92,499

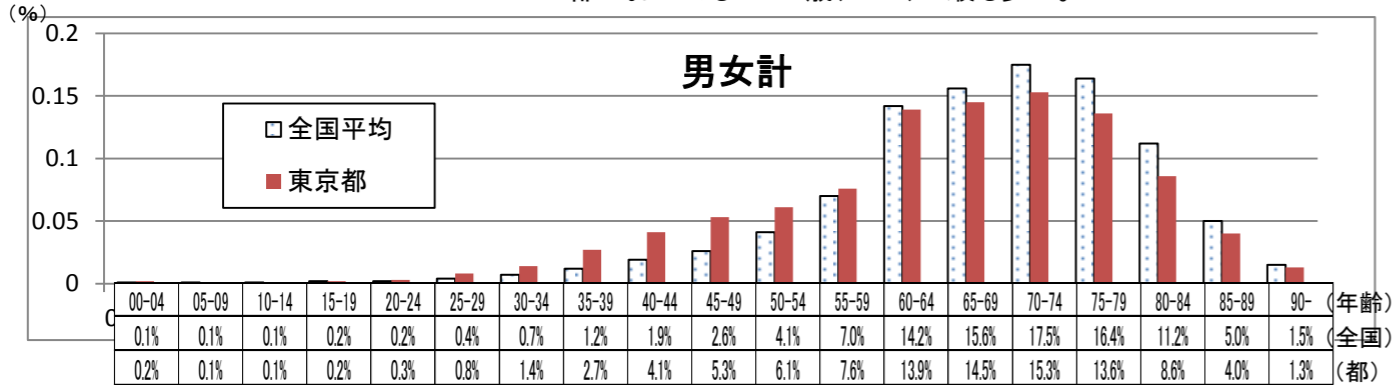


東京都が全国に占める部位別の割合

部位	件数
口腔咽頭	18%
食道	18%
胃	14%
結腸	17%
直腸	16%
(大腸)	16%
肝臓	13%
胆嚢胆管	13%
膵臓	15%
喉頭	14%
肺	14%
骨軟部	19%
皮膚	12%
乳房	20%
子宮頸部	14%
子宮体部	15%
卵巣	15%
前立腺	16%
膀胱	14%
腎尿路	15%
脳神経	20%
甲状腺	15%
悪性リンパ腫	14%
多発性骨髄腫	14%
白血病	14%
他の血液	14%
その他	16%

2 年齢階級別 登録数

▼年齢階級別では、全国平均では、70-74歳(17.5%)が最も多く、都においても70-74歳(15.3%)が最も多い。



4 都の診断時住所別 登録数

▼診断時住所が都内である患者の割合は約74%であり、近隣県(埼玉県・神奈川県・千葉県)からの患者は約21%であり、その他は約5%である。

5 都の来院経路別 登録数

▼「他院から紹介」が約64%を占め、以下多い順に「自施設で他疾患経過観察中」約17%、「自主」約10%、「人間ドックから紹介」約6%と続く。

6 都の発見経緯別 登録数

▼「その他・不明」が全体の約53%を占め、以下多い順に「他疾患の経過観察中」約29%、「健康診断・人間ドック」約11%、「がん検診」約7%と続く。

7 都の症例区分別 登録数

▼「自施設診断自施設治療」が約59%を占め、以下多い順に「他施設診断自施設治療」約23%、「他施設にて治療開始後」約12%、「診断のみ」約6%と続く。